

VUCA (ブーカ) の時代の教育について

校長 大谷 裕紀

最近耳にすることが多くなったVUCA。そのVUCAの時代の教育についてですが(新しい言葉に、ついていくのが大変です)VUCAとは、Volatility(変動性)、Uncertainty(不確実性)、Complexity(複雑性)、Ambiguity(曖昧性)の頭文字を並べた造語で、ひとことと言うと「予測困難」という意味なのだそうです。これまで何時間もかけて調べていたことや、何日もかけてやりとりしていたことが、スマホの登場によりわずか数分、もしかしたら数秒で済むようになりました。こうしたテクノロジーの進化は、世の中の仕組みやルールをめまぐるしく変化させ、私たちが置かれた社会は「将来の予測が困難な状態」、つまり VUCA の時代に突入したといわれています。こうした時代の変化で、社会が求める社会人像が、大きく変わってきています。これは学校が、意識しなくてはならないこと。明治以降の社会では、一斉授業の学びが、社会が求める社会人像を作り上げるものとしてはあっていた。学校教育も会社もラインを忠実に作業できる人材を育ててきたということがあったと思います。しかし、これからの社会においては、身の回りに生じる様々な問題に自ら立ち向かい、その解決に向けて、いろいろな考えを持つ他者と協働して力を合わせながら、最適な解決方法を探り出せる力を持った人材が求められています。その人材育成に向けては、「何ができるようになるか」が重要であり、「何を学ぶか」に加え「どのように学ぶか」を大切に学校は進めていかななくてはなりません。(この後各家庭に配布される玉井小学校グランドデザインを参照してください。)こんなイメージなのかもしれません。今までの教育は、ガイドブックを与えられ旅行するようなものであり、これからの教育は、コンパスと自分でそろえた道具を持って探検にいくようなもの。探検には、それを成し遂げようとする「探求心」と強い「意志」が必要です。そして、その探検の成果として「何ができるようになったか」そのために「何を学び身に付ける必要があるか」「それをどう身に付けるか」と言うことが大切になると思います。現在、コロナ禍と言うこともあり、VUCA を加速させる出来事となっています。いつ終息するかまったく予測がつかない状況は、VUCA そのものです。そのコロナの流行を受けて、学校では、「卒業式をどうするか?」という問題が発生しました。これまでは、「卒業式はおこなうもの」という「前提」があり、そのなかで「来賓は挨拶をするもの」「式は練習をして臨むもの」「式次第に沿って粛々とすすめられるもの」という「常識」が存在していたと思います。しかし、コロナによって、この前提や常識は見事に覆されました。いや、覆さなければ、解決の糸口がつかめない状況になりました。置かれた状況が違うすべての人にとって100点満点の解決法なんて存在し得ないからです。重要なことは、筋の良い問いを立て、その問いに対して、100%ではないけれど多くの人が「納得」できる解を導き出し、実行していくことではないか。そして、それこそが、VUCA の時代を生きる子どもたちに最も必要な力なのではないでしょうか。これまでは、答えのある問いに対して、どれだけ速く正解を導き出せるかが大事でした。基本となっていたのは正解を量産するようなドリル型の学習スタイル。しかし、VUCA の時代にあっては、そのスタイルだけではサバイブできないということ、自ら問いを立てる力が必要だということになります。



何気ない会話が道徳教育

道徳主任

「特別な教科 道徳」が始まり4年目となりました。道徳が教科化されて保護者の皆様が1番変化を感じることは、通知表への評価がされるようになったことではないでしょうか。道徳の授業での子どもたちの様子を少しでも感じていただければいいなと思っております。また、道徳の評価は、子どもたちのよさを認め、励ます材料として、ご家庭でご覧ください。

道徳の授業では、「こんなときどうすればいいのだろう。」と日常に何げなくある場面を切り取り、友達と話し合いながら、生きていく上で大切なことについて考えていきます。子どもたちは、自分の経験を思い出しながら、驚くほど様々な意見を出し、考えを深めています。

しかし道徳の授業で行われる道徳の学習はごく一部です。道徳の学習は、国語や算数などの教科や給食、掃除などの学校生活、そしてご家庭や地域でも、常日頃行われています。子どもたちが話す様々な出来事や、一緒に過ごしたり遊んだりする中で起こることについて「こんな時どうする?」「どう思う?」と話すことで、子どもたちの経験になったり、考えが広がったりするきっかけにもなります。ご家庭でも何気ない会話から道徳教育につなげてみましょう!

6月の主な行事予定

1	火	プール清掃(5年、6年)
2	水	
3	木	陸上フェスティバル
4	金	全校朝会、委員会、陸上フェスティバル(予備日)
5	土	
6	日	
7	月	古代から教室へのメッセージ(6年)、新体カテスト(1、2年)、くまなびスクール③
8	火	新体カテスト(3~6年)、代表委員会
9	水	登校指導、教育相談(月曜日課5時間)
10	木	歯科検診(1、3、6年)、4年校外学習
11	金	たて割り活動、クラブ、尿検査二次
12	土	
13	日	
14	月	新体カテスト予備日、尿検査二次、くまなびスクール④
15	火	新体カテスト予備日
16	水	プール開き
17	木	歯科検診(2、4、5年、ゆりひま)
18	金	クラブ活動
19	土	
20	日	
21	月	眼科検診、くまなびスクール⑤
22	火	文化芸術による子供の育成事業(ワークショップ)5、6年
23	水	水泳教室①
24	木	交通安全教室(1年)、水泳教室②
25	金	交通安全教室(4年)水泳教室③、クラブ活動
26	土	
27	日	
28	月	小中一斉下校
29	火	
30	水	

7月の主な行事予定

2日	(金)	たて割り活動、委員会
3日	(土)	授業参観
5日	(月)	振替休業日(7/3分)
6日	(火)	代表委員会
7日	(水)	月曜日課5時間
8日	(木)	木曜日課5時間
9日	(金)	登校指導日、月曜日課5時間
12日	(月)	くまなびスクール⑥
13日	(火)	林間学校(5年)、月曜日課6時間
14日	(水)	月曜日課6時間
15日	(木)	木曜日課6時間
19日	(月)	くまなびスクール⑦
20日	(火)	全校朝会、アシスト配布、給食なし3時間